

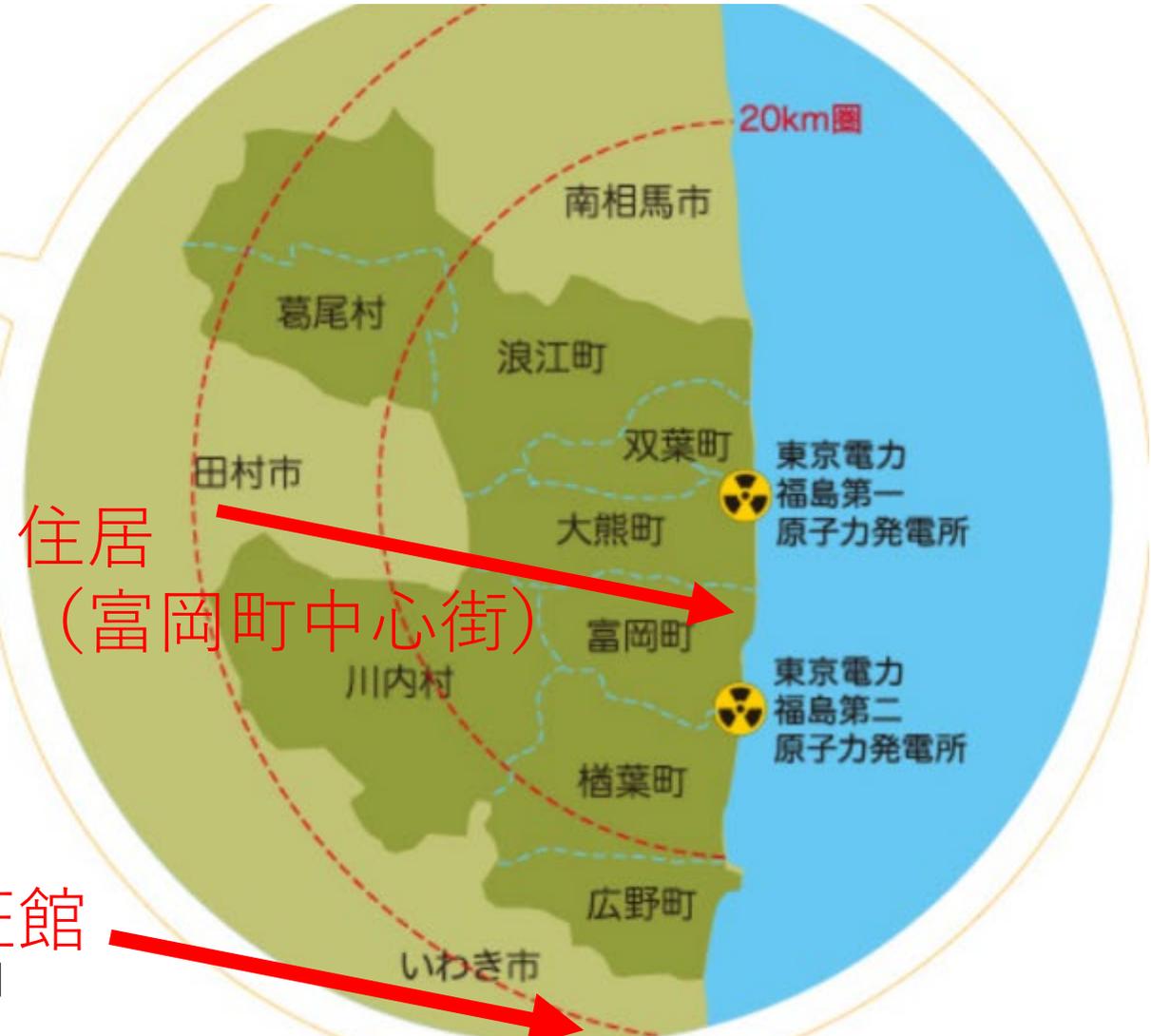
オンラインシンポジウム 公害資料館が果たす役割と未来
対話⑤

西島香織（原子力災害考証館furusato事務局）

「困難な過去」から「地域の価値」へ



住んでいる場所



furusato考証館

<http://sosovolunteer.com/sosofutabagun.html>



略歴など

生まれも育ちも埼玉県。

2008年 法政大学船橋研究室（原発・放射性廃棄物問題）

2010年 地域金融機関就職

2012年 原子力災害後、福島県の有機農家との出会い

2013年 環境NGO“A SEED JAPAN”就職、のち事務局長・代表

2019年 第一子出産⇒富岡町へ移住

現在 子育て支援NPO監事

ふたば地域サポートセンターふたすけスタッフ

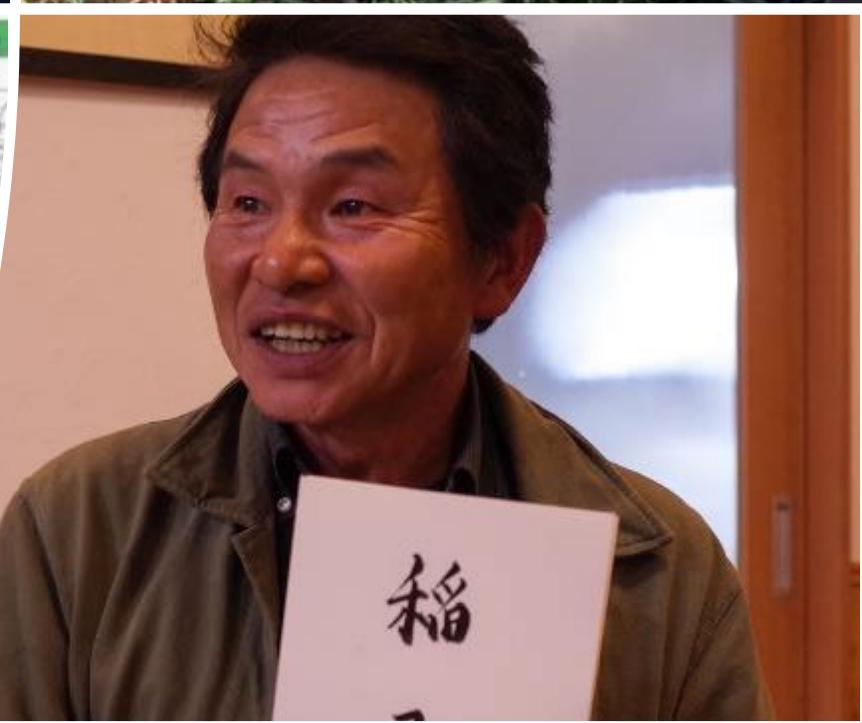
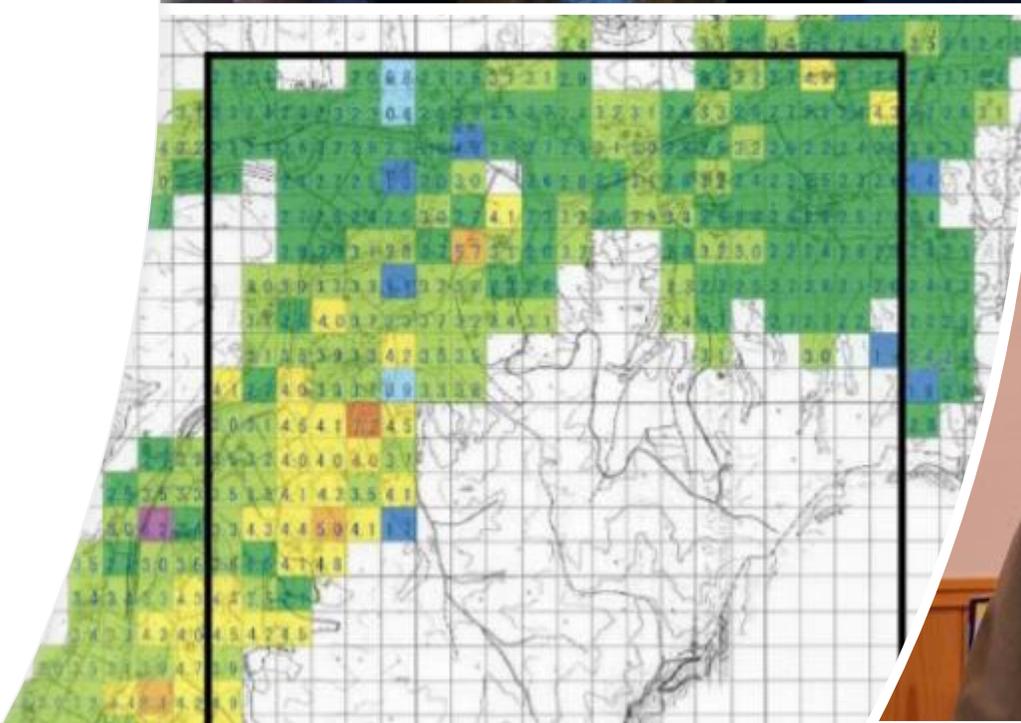
地元洋菓子店の総務経理

原子力災害考証館furusato運営事務局スタッフ、ほか

福島県 有機農家の取組

- 2011年より、100m メッシュ・533 地点の詳細な調査を住民主導で実施。
- 参考：小山良太研究室
「平成 24 年度 共同研究事業実施報告書ー福島県内における放射性物質分布マップの作成手法確立と普及に関する調査研究」

<https://www.kasseiken.jp/pdf/investigation/2013/fukushima-map.pdf>



平山勉氏(双葉郡未来会議／ふたばいんふお)



写真：復興庁「福島フロンティアーズ」より引用

- 「相双ボランティア」：帰還困難区域の住居の掃除、解体される住居の家具運びだし、引っ越しの手伝い、草刈
- 双葉郡未来会議：寄り合いの場づくり
- ふたばいんふお：双葉郡総合インフォメーションセンター
- 【音楽フェス】とみRock
- 【youtube】富岡インサイド：旧警戒区域・福島県富岡町の現状を伝える
- 慰霊碑
- ほか



写真：時事通信「鎮魂の3. 11 写真特集」より引用

それぞれのやり方で思いを伝えている現場



帰還困難区域ガイドの様子（2021年11月）



沖縄タイムス 2022年1月2日



大熊未来塾機関紙第1号『SoIL』

原子力災害考証館furusatoとは

2021年3月12日オープン
「誰かの/私の“ふるさと”
を失わない/奪わないた
めにどうしたら良い
か？」という問いを共有
するための展示・場。
そこから、原子力災害の
教訓を皆さんと考えてい
きたいと思っています。



原子力災害考証館furusatoとは

展示はもちろん、
現場ツアーや
意見交換会も実施しています。

運営体制は実質3名(!)
様々な方々の力を借りながら運営しています。

<https://furusatondm.mystrikingly.com/>

